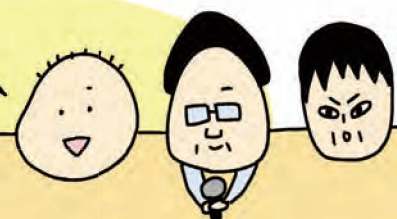


松浦で暮らして感じることは？



「まちの中が年功序列で成り立っているの、若者は出ていきたくなくなる。
良い意味の年功序列だといひけどね」

「まちにまとまりがない感じがする」 「志佐は先輩後輩が強い。御厨、星鹿はフレンドリー」

「フラットじゃない人間関係（部活、学校）が大人になっても続く」

「松浦 22000 人。まちに活気がない」 「選挙の話をしない。選挙の話を
若手がやるようにならないと」

「先々は戻ってこれたかと思っている。松浦全体で盛り上げたい。松浦にも何かあるはずなんですけどね」

「今ある組織は男性ばかり。人が変わらないと風土は変わらない。ママ（女性）の話を聞いてよ」

「まちづくりをやっているつもりではないけど結果としてまちづくりになっている。個と個が繋がるとまちづくりになる」

「一緒にやるメンバーには情熱がほしい。やらされてる感はいらない」

「ぎぎが浜再生したい、歴史がある」 「松浦鉄道からの眺めもっときれいにしたい」

「今福未来会議は若い人より年配者の意識が高いと思った。70代80代の人たちと話し合えてよかった」

「“アジフライの聖地” 一般の方にもわかりやすいし、市場で食べられるからいいと思う」

「個体で戦うのもいいが面でするのがいい」 「地域性が強い。まとまる必要がある」

「意見を言うために会議に来るのは、おいちゃん達。福祉の話しかない」

「いろんな年代、性別の人たちから意見を聞くことが必要。子ども、教育に目を向けることが必要。子育て世代の意見重要」

「夢は松浦でも（何処でも）叶えられる。大人が諦めているのではないかと思う」

「子育て世代、こどもファーストのまちづくりを」

「転勤者は言う『子育てしやすい』と。けど終の棲家にはならない」

「松浦を好きになってくれることを子どもの時に。一度は出て行っても帰ってこられる場所になると思う」

「市役所は縦割りが強い感じがする。閉鎖的、連携できていないとも思う」

「市役所に限らず今のやり方が標準と思うと変わっていけない。が、上の人たちが受け入れない」

「ホントにマスタープランに市民の声が反映できるのか！」

「松浦の人が松浦のことを知らない。それでは松浦の魅力を市外の人に話ができない」

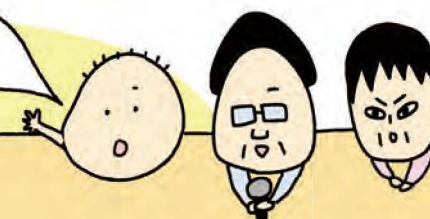
「御厨ぶどう、メロンなどめっちゃ美味しいのに世にでていない」

「意見を言いたくても言えない人が多い。女性の意見は大事だと思うけど」

「子どもに『松浦すごいね』と言わせたい」

「松高を教育のハブに・・・なくなるのは困る！何か特色を」

何でもいいので松浦について一言ください！



「地域福祉は20年前と比べると様々な面で厳しくなった。財政・事業内容・人材確保」

「農業はあと10年すると現役がいなくなるのではないかな。農業だけではやっていけないし、継げとは言えない」

「漁業も農業と同じ状況。船は昔の3分の1。港に船がない」

「元気な高齢者をどうネットワークにするか？福祉を福祉の中に閉じ込めておくと動けなくなる・・・」

「松浦高校に看護科をつくれればいい！」

「細分化していた時代から統合する時代。集まって話す仕組みが必要。一緒になって体力をつける」

「今までしょったけん・・・という考えは古い！新しい考えが通るかわからないけどそこを掘り所に考えるべき」

「この先10年想像以上に厳しいのでは」

「香港、台湾、オランダからインバウンド客がH28くらいから増えてきている。会話が楽しい。身振り手振りでね」

「体験学習に来た子どもは凄く変わる。涙が出るくらい」

「島の人は思っても言えない人が多い。女性の意見は大事！！取り入れていかないと」

「夢は言わないかん！自信がないから言えない。でもそれじゃ進まないから腹立たしい。敷かれたレールを行くだけ」

「仕事の代わりはできるけど、あんたの代わりはできんよ」

「ひじき摘みとかウニ獲りとか稼げる仕事は島にある」

「島はノウハウ×若い力でやるしかないが、このコラボがないと先はない。とにかく人材が必要！」

「静か、のどか、住みやすい」

「市役所や病院までの交通手段が限られる。土日乗合バスなく車なしでは大変」

「休みの日は、市外へ 福岡、佐賀、武雄、伊万里、唐津に」

「星鹿に移り住みたい家族がいても、住宅がない！」

「核家族増えている。おじいちゃんおばあちゃんが近くに住んでいても同居ではない」

「鷹島、福島に松浦の人をもっと注目せねば！」